

進路の疑問に答える

4月に、1年生に進路についての疑問を書いてもらいました。その中から、いくつか選んで疑問に答えたいと思います。2年・3年も共通した疑問を持っている諸君も多いでしょうから、役立ててください。

1) 長野県短期大学はいつから4年制になるのですか？

今から3年後、2018年4月より大学に移行予定です。総合マネジメント学部 総合マネジメント学科（定員160名 教職課程併設）、健康発達学部 ことば学科（定員40名、保育士課程併設）健康文化学科（定員40名管理栄養士健康コース併設）2学部3学科の構想です。現在の1年生が該当することになります。現在の短期大学からの4年制への編入が可能かどうかについては、まだ分かりませんが十分可能性はあるでしょう。ちなみに、長野大学も私大から上田市立で公立化する構想があります。まだ、最終決定にはなっていませんが、近年中に公立化すると思われます。

2) 就職状況は？就職試験はどんなもの？

一昨年度は厳しく、9月時の試験合格率は60%ほどでしたが、昨年は求人数が増え（1.56倍→一人あたり一社以上の求人があったということ）90%以上に回復しました。生徒は最初の希望事業所にほぼ全員就職内定しています。その年々の経済状況に左右されるので、今後は何ともいえませんが、数年くらい同じ状況は続きそうです。ただし、服飾販売や事務系の求人はほとんどないので注意して下さい。就職試験は、書類審査と面接が重視されますが、筆記試験をかす所も多い（特に大手企業）。筆記試験は作文と国語や数学の基礎的な問題や作業テストのようなものが出題されます。しっかりと授業を受けてふつうの成績が取れていれば大丈夫でしょう。ただし、公務員試験は大学受験と同じように準備して行かなければ歯が立ちません。遅くとも2年生から模試を受験し、準備して下さい。ちなみに公務員試験の倍率は5倍から10倍以上がふつうです。よほど、腹を据えて勉強していかないと進路希望も絵に描いた餅になってしまいます。

3) 専門学校に試験はありますか？

医療系の専門学校は試験があります。特に看護専門学校は英、数、国、理科全部かそのいずれかを指定され、必ず筆記試験が課されます。その他の医療系専門学校は、一般推薦の場合には書類審査と面接、小論文が課されます。一般受験の場合は看護と同じです。看護は一般推薦であっても筆記試験がありますので、十分に学力をつけるよう準備して下さい。その他の専門学校は面接や書類審査だけで入学できるところがほとんどですが、楽でいいやと安易に専門学校を選ぶのは禁物。専門学校は基本的に資格や実学を身につけ、就職に即結びつくところです。曖昧な気持ちで、大学で勉強するのも嫌だし、さりとて就職もきついなんて気持ちで入学したら、たちまち脱落して高い授業料を無駄にしてしまうことになりますから、くれぐれも安易に選択はしないで下さい。

4) 大学受験の学習方法は？

大学の一般試験には二通りあります。センター試験とそれぞれの大学で出題される個別試験です。センター試験は教科書以外の範囲から出題してはいけないことになっていますので、高校3年間の基礎的学習内容の集大成の意味を持っています。国公立大はセンター試験受験が義務づけられていますし、多くの私立大学が個別試験の代わりにセンター試験利用も可としています。ですから、まずセンター試験に対応できる学力を身に

つけることが重要です。ではセンターに対応するための学習方法とは何でしょうか？一言で言えば、まず授業内容をしっかりとみつけるということです。ただし、100%身につける気概で行かないと駄目です。大学受験といえども、一部の大学を除いて、試験内容のほとんどは基礎です。まずは、基礎学力を100%しっかり身につけることが受験勉強だと思って下さい。

5) 看護の大学と専門学校の違いは？

看護資格を取るという意味では大きな違いはありません。ただし、大学は4年制なので、合わせて保健師や助産師の資格を取れるところが多いと言えます。もちろん資格は卒業しただけでは取れませんね。国家試験を受けなければなりません。また、看護大学は大学卒業の学歴として評価されるので、看護師になってからリーダー的な存在として活躍できる可能性が開かれます。

6) 大学の選び方が分からない。

日本に大学は国立86校、公立75校、私立593校もあります。その中から1つだけ選ぶわけですから迷って当然ですね。一番良い選択の仕方は自分の興味関心や将来についてみたい仕事から、学部・学科を選ぶことです。例えば、薬学部に行きたいとなれば、大学は限られてきます。国立なら長野県の周辺に数校しかありません。(富山薬科大学、岐阜薬科大学、千葉大の薬学部くらいでしょう)私立は東京を中心にもっとたくさんあります。しかし、現実の条件(学費—私立の場合6年間で1500万円くらいかかる)を考えると、私立は難しいとなれば、国立になるでしょう。国立は試験が大変難しいことが分かって、そこで断念するか、いや猛勉強してでも入るぞと考えるかはあなた次第です。ただ、理系以外は将来の仕事を考えずに、選択することもできます。その際も大事なのは、どんなことを勉強して見たいかという興味・関心です。地歴に興味があって、是非日本史を深く学んでみなければ、人文学部系。英語に興味があって、世界で活躍してみたいなら、国際コミュニケーション系等。後は大学の所在地を意識して選んでもいいと思います。自宅から通える範囲ならずいぶん限定されます。その狭い範囲からもっとも自分に合った大学を選ぶとなれば迷うこともできません。たとえ、東京であっても範囲は狭まります。少しでも興味を感じたらオープンキャンパスに行き、見てくるのが大切です。そこで情報を得ることによって案外この大学を選んだらどうかという気持ちになってきます。

7) 4年制大学と短期大学の違いは？

もちろん修業年限4年と2年(3年)の違いが一番ですが、そのため短期大学は、学部学科が4年制に比べてずいぶん限られてきます。例えば信州大学のような総合大学なら、教育学部、経済学部、医学部、人文学部、農学部、工学部、理学部、繊維学部と多数の学部を持っていますし、私立大学の単科大学でも様々な学部学科をそれぞれに特徴として持っています。私立大であれば、ブライダル学科とかホテル学科とか漫画学科のような特殊な学科を持っているところもあります。それに対して短期大学の学部学科は割と限られているのがふつうです。県内であれば、幼児教育系、家政系、国際コミュニケーション系が多く、全国を見れば、専門学校のように看護短期大学、自動車整備短期大学、経営短期大学のように学問を学ぶのではなく即戦力を見つけられるような学部、学科を持っているのが特徴です。ちなみに短期大学から4年制大学への編入に力をいれている短大もあります。例えば、公立なら大月短期大学、私立なら新島学園短期大学など。

8) 信州大学はどのくらいの点数や成績が必要？

学部によってそれぞれ幅がありますが、センターの得点率でいけば、一番易しい学部学科(工学部)で65%、難しい学部学科(人文学部)で75%くらいがボーダーの目安でしょうか。一般推薦を目指すなら、学校の評定値で4.0以上は必要になります。大学の一般試験の合格可能性は模擬試験を受けてみなければ、学校の成績だけでは判定できません。積極的に模擬試験を受け、自分の客観的な学力を知って対策をしてゆくのが大切です。

9) 看護専門学校に進学するための学力は？

過去の先輩達の状況を見ると、必ずしも本校で一番良い成績を取っている人だけが合格しているわけではありません。中位くらいでも十分に合格しています。要は一般試験で得点できる力をつけることです。そのためには、しっかりした得意科目を持つこと。たとえ英語が苦手でも、数学や国語を生かして合格を果たした諸君もいます。看護専門学校の問題は、そんなに難しいものではありませんが、センター試験よりやや易しいくらいのレベルですので、しっかりした基礎学力を身につけなければなりません。合格得点率は、おおよそ60%と考えてもらえばいいでしょう。

10) 公務員のスポーツ系の仕事先は？

本校でけっこう人気が高く選択する人もいます。職種としては警察官、消防士、自衛隊、海上保安職員、スポーツトレーナーなどになりますが、特に公務員試験でスポーツ技能を問われるわけではありません。ただし、自衛隊では体格検査はありますし、警察官や消防士等運動技能が求められるので、併設しているわけです。スポーツ方面に進む場合、スポーツトレーナーなどの仕事は数が少なく、なかなか思った通りの就職は望めないことは覚悟しておくべきでしょう。

11) 高校生はどのくらいの時期に進路を決めているのですか？

統計値を調べたわけではありませんので、難しいところですが、早い人なら中学生の頃から決めている人もいるでしょうが、3年の1学期くらいに決めている人がほとんどでしょう。3年の1学期の保護者懇談会では進路の話が中心になります。就職希望者は、求人票が7月に出ます。そこで会社見学、9月に試験になります。公務員希望者なら6月から8月にはもう出願しなければなりません。進学希望者なら、AO入試は8月から始まり、9月には指定校や一般推薦の選考会議が開かれます。そう考えると、3年1学期は最終決定時期になりますね。いろいろ迷って、この時期に決定している人が多いと推測できます。ただし、進路決定は早ければ早いほうがいいのです。なぜでしょうか？当たり前なことですが、準備や対策の時間が十分に取れるからです。最終決定は、2年の講座選択決定時期が最良です。その時に選んだ進路方向が、3年になっても変わらなければ3年講座の授業が生きてきますよね。3年になったら、迷わずまっすぐに進路実現に向かうこともできます。そのくらいの時期から私は国公立大学を目指すことに決めて、その準備や対策をしてゆけば合格率は飛躍的に高くなります。

12) 体育の教師になるためには、どこの大学に行けばいいのですか？できたら国公立系。

国公立には体育大学はありませんので、それぞれの教育学部の体育コースを目指すことになります。信州大学や山梨大学等地方国公立大には、ほとんど体育コースがあります。試験には必ず、実技がありますが、まずセンター試験で合格得点率を確保しなければなりません(65%以上)。センター点と実技点の合算で判定されますが、その比率は大学によって様々です。ちなみに私立体育大学の体育学科は、実技の比重が極めて高く、しかも一般推薦の場合には、かなりのレベル(全国大会出場レベル)を求められますので、同じ体育大学でも、体育学科以外の学科を目指してみると、より入りやすいということが言えます。同様に国公立も一般推薦の場合には、かなり高い実績が実技に必要なになります。実技の比重が高いと言っても、一般受験では学科試験(英・国が多い)も課されますので、そこで合格点レベルは確保しなければなりません。

13) 看護は文系？理系のどちらに進めば良いですか？

難しいところですが、理系に進むのが本来でしょう。ただし、試験科目だけから言えば、文系にいても対応はできます。というのも、数学ではⅠAⅠⅡBまでの出題で、数Ⅲを求められないからです。これは、大学でも同じです。また、専門学校等は理科が一科目受験ですので、2科目以上勉強しなくてもすむからです。しかし、進

学後を考えると、理科については生物、化学の2つは身につけておくべきです。その意味では、理系が有利でしょう。また、看護系の多くは英語力を重視されますので、苦手な人は克服できるように早くから準備すべきでしょう。(特に長野県看護大学は英語学力を大変重視しています。)

14) 美容専門学校でいいところは？

先日、ある美容専門学校から来校がありました。その時の話。「最近、個人の美容院は飽和状態にあるんじゃないでしょうか？」と質問したら、従業員を多数やとっているところは、むしろ人出不足だそうです。なぜでしょう？美容院は最初の1, 2年は下働き(洗髪や掃除)です。それが嫌で止めてしまう人がとても多いという理由でした。美容という華やかなイメージに惹かれて、選択したものの最初は地味な仕事です。洗髪をすればひどい手荒れになってしまいます。でも、どんな仕事も最初はそうではないでしょうか？それに洗髪や掃除がなければ、美容院は成り立たなくなってしまいます。大事な仕事ですよ。そこが分かって初めて一人前の仕事人になるということなのでしょう。華やかさの陰に、しっかりと地道な部分がある。そこを教えてくれるのが美容専門学校です。その点がいいところだと思いますが、いかが？

15) 自分に個性がない場合、どうやって進路選択すれば良いですか？

自分には目立った個性もないし、これといった取り柄もないし、困ったなあと思っている人は案外多いと思います。でも、まず誰にでも個性はあるし、取り柄はあるんだと思って下さい。要するに、ただ自分自身が気がついていないだけなのです。人間はどうしても他と自分を比較してしまいます。あの人は、元気があって活発だし、クラブも頑張っている成績を出しているし、うらやましいなあ、それに引き替え自分は、、、などと思うかも知れませんが、しかし、あなたにもちゃんと個性はあるし取り柄があります。それは間違いのないことなのです。それでは、どうすればそれに気づくことができるのでしょうか？簡単なこと、自分で分からなければ人に聞いてみるしかありません。ただの他人では駄目ですよ。あなたをよく見ている人、気の置けない友人や家族、それに担任の先生に何気なく聞いてみましょう。その時、注意したいのは、本当の自分があるなんて思わないことです。本当の自分(個性)を見つけられればなんて思っていると、永遠に本当の自分は見つからないですよ。本当の自分なんてありません。内田樹という人の言葉ではありませんが、「人間の欲望は本質的に他人の欲望を模倣するものです。」なんか難しいそうですが、そんなに構えずに自分の個性なんて探そうとせずに、自然に少しでも興味のあることをやっていけば、自ずと見つかってきますよ。

16) 医療系の仕事はいろいろありますが、これから何が良いのでしょうか？

医療系は最近、人気が高い分野です。看護はもちろんですが、検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、柔道整復士、救急救命士、臨床工学技士等、たくさんあります。看護師はイメージしやすいですが、その他はよく分かりませんよね。イメージしやすい理学療法士とか救急救命士は人気が高いのですが、理学療法士について言えば、近年飽和状態にあり、老人介護施設しか就職先がないと言われていましたが、最近、就職状況は改善しているようです。人気が高い職種で、病院等の数も決まっているので、先々、飽和状態になる可能性は十分ありますが、臨床工学技士は需要が今後増えてくる可能性が高い分野です。臨床工学技士の仕事は、生命維持管理装置の操作・点検の仕事が主になりますが、近年、医用工学機器の使用が各病院で増えている状況があります。その点でかなり需要が求められているそうです。

